

《担当者名》 浅野雅子 asanom@hoku-iryo-u.ac.jp 吉田彩華

【概要】

作業療法技術学演習の経験をふまえ、作業活動と作業療法の関連性を理解することを目標とする。各作業活動の特性を理解した上で、身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域における臨床場面での作業活動の治療的応用（治療目的、治療適応となる対象者、期待される治療効果など）について考察する力を培う。また、作業活動を実施する上での機器や道具に関するリスク管理について学ぶ。

【学修目標】

<一般目標>

- ・作業療法の各種対象領域における作業分析と作業の適用について理解する。

<行動目標>

1. 作業活動の臨床場面で治療的応用について考察することができる。
2. 作業活動を実施する上でのリスク管理ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・講義の進め方、概要、評価の説明 ・作業の治療適応について理解する	浅野雅子
2) 3	作業活動：陶芸 土練・成型	・陶芸における道具・材料の特性を理解する ・陶芸の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する ・陶芸活動の提示および指導ができる	浅野雅子 吉田彩華
4) 5	作業活動：タイルモザイク	・タイルモザイクにおける道具・材料の特性を理解する ・タイルモザイクの作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する ・タイルモザイクの提示および指導ができる	浅野雅子 吉田彩華
6) 7	作業活動：タイルモザイク	・タイルモザイクにおける道具・材料の特性を理解する ・タイルモザイクの作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する ・タイルモザイクの提示および指導ができる	浅野雅子 吉田彩華
8) 9	作業活動：陶芸 釉薬	・陶芸における道具・材料の特性を理解する ・陶芸の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する ・陶芸活動の提示および指導ができる	浅野雅子 吉田彩華
10	作業活動：マクラメ	・マクラメにおける道具・材料の特性を理解する ・マクラメの作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する ・マクラメの提示および指導ができる	浅野雅子 吉田彩華
11	作業活動：手工芸	・手工芸における道具・材料の特性を理解する ・手工芸の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する ・手工芸の提示および指導ができる	浅野雅子 吉田彩華
12) 13	作業分析と治療的応用	・作業分析から対象疾患へ適用範囲を列記できる ・作業適用の効果を理解する ・作業適用の負の効果を理解する ・効果の正と負の要素を比較できる ・作業活動の治療的応用について考察できる	浅野雅子
14) 15	分野別作業の適用	・身体領域と精神領域における作業分析の事例を通して作業療法の概要を把握し、考察することができる	浅野雅子

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

作品提出 50%（陶芸15%、タイルモザイク15%、マクラメ10%、手工芸10%）

定期試験 50%

試験結果の詳細については適宜担当教員に確認すること。

【教科書】

小林夏子 他 編 「標準作業療法学（専門分野）基礎作業学（第3版）」 医学書院 2017年

【参考書】

日本作業療法士協会 編 「作業 - その治療的応用（改訂第2版）」 協同医書出版 2003年

【備考】

講義内容により適宜別途資料を配布する

【学修の準備】

多くの道具や材料を用いますので細心の注意を払って参加し、各作業活動で作成する作品は必ず仕上げて提出すること。

また、事前学修と事後学修の探索・学習を行うこと（各80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

浅野雅子（作業療法士）、吉田彩華（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や福祉施設での臨床経験を活かし、講義を行う。